



高いところからカルデラに広がる草原をながめてみよう

このような広大な草原を見たことがありますか？ 阿蘇の草原は、世界でも有数の大きさのカルデラとその周辺に広がる日本一の野草の草原です。面積は約1万5千ヘクタール（※）で、日本中の公立小学校（※人工の牧草地を除いた面積）

の運動場を足しあわせたほどの広さがあります。

カルデラとは、ポルトガル語で「大なべ」のことで、中央部が大きく丸くくぼんだなべのような地形をいいます。周りの輪のように山が外輪山^{がいりんざん}です。

カルデラの壁の高さは、高いところで450m近くもあるんだ。



カルデラの直径は約20km。その中に4万7千人も人が住んでいるんだよ。

カルデラってどんな地形？

阿蘇で火山活動が始まったのはおよそ27万年前。では、阿蘇のカルデラはどのようにしてできたんだろう？

約9万年前

数千年前



富士山一つ分の量の溶岩や火山灰を噴き出す大噴火が起こりました。このときの火砕流は九州の半分をおおいつくすほどでした。



大量の溶岩を噴き出したため地面が落ちこみ、大きなくぼ地ができました。くぼ地に雨水がたまって湖となり、中央部には新たな噴火によって山ができました。



外輪山の割れ目からカルデラ湖の水は外に流れ落ち、ほぼ現在の姿となりました。

阿蘇の草原は日本を代表する風景だよ

春先の野焼きの後、一面に咲きほこる黄色いスミシ、夏の風にどこまでも揺れる青草、のんびりと草を食べるあか牛。秋の牧歌的な風景や冬の樹氷と火口の噴煙など、火山と草原がつくり出す景観は雄大で、四季それぞれに人をひきつけます。昭和9年には、日本を代表する自然の風景として国立公園に指定され、年間1,900万人を超える人が観光に訪れています。



